

第4号様式（第9条関係）

令和8年 4月 1日

日進市議会議長 宛て

議員名 川嶋 恵美

令和7年度政務活動費収支報告について

日進市議会政務活動費の交付に関する条例第9条第1項に基づき、別紙のとおり
令和7年度政務活動費収支報告書を提出します。

令和7年度政務活動費収支報告書

議員名 川嶋 恵美

1 収 入
政務活動費 150,000 円

2 支 出 74,630 円

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
調査研究費	0	
研 修 費	74,630	全国都市問題会議 参加費・交通費等
広 報 費	0	
広 聴 費	0	
要請・陳情活動費	0	
会 議 費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	0	
合 計	74,630	

3 残 額 75,370 円

参考 第1号様式

政務活動事業実績報告書

議員氏名 川嶋 恵美

令和7年度政務活動費に係る事業実績報告書を次のとおり提出します。

年 月 日	事 業 名	事 業 概 要 及 び 成 果 等
R7. 10. 9～ R7. 10. 10	第87回都市問題会議	別紙添付

(注) 使途基準の項目別に記載すること。

第 87 回都市問題会議 報告書

川嶋恵美

1. 基調講演

「人口減少・成熟時代の都市とまちづくり」 京都大学名誉教授 広井良典

今、都市部中心部で空洞化が広くみられる。一方、若い世代がカフェやコワーキングスペースなど「コミュニティの拠点」として商店街に関心を向け、高齢世代が自然な形で中心市街地に足を向ける流れなど、コミュニケーションや創発が生まれるコミュニティ空間としての「ウォークブル・シティ（歩いて楽しめるまち）」を求める動きが活発に起こりつつある。

「多極集中」多極的でありつつ、各々の極は集中的であるような都市・地域像が「人口減少・成熟社会の国土像」の基本理念の一つとして重要。

2. 主報告

「人口減少社会に対応する都市の構造改革」

～100 年先も発展できる「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成～

栃木県宇都宮市長 佐藤栄一

宇都宮市におけるネットワーク型スマートシティ（NCC）は、都市機能の「拠点化」と、拠点間の「ネットワーク化」を一体的に進めることで、コンパクトなエリアに生活に必要な機能を集約し、市民生活の質や都市の価値・活力を高めることを目的としている。

基幹公共交通として導入された次世代型路面電車「ライトライン」は、定時性・速達性に優れ、騒音や振動が少なく快適な乗り心地を実現。低床式で段差がなく、誰もが利用しやすい設計となっている。また、地域新電力会社「宇都宮ライトパワー株式会社」によるバイオマス発電を活用し、地域由来の再生可能エネルギーのみで走行する「ゼロカーボントランスポート」として、環境負荷の低減にも貢献している。

整備効果として、ライトライン沿線の人口増加や住民の平均歩数の増加が確認され、医療費抑制効果は約 16 億円から 18 億円と推計されている。さらに、外出率や交流機会の増加など、ライフスタイルの変化を通じてウェルビーイングの向上にも寄与している。

地域連携 IC カードの活用により、運賃の上限設定や乗り継ぎ割引制度が導入され、移動の利便性が向上している点も注目された。

これらの取り組みは、「地域共生社会」「地域経済循環社会」「脱炭素社会」の実現を目指し、「人」と「デジタル技術」の活用を原動力に、人口減少社会においても持続可能な都市づくりを進めるものである。

ライトラインは 20 年間、ライトキューブは 50 年間で事業費を賄える計画となっており、未来への投資と地域の「稼ぐ力」の創出、少子高齢化への対応など、持続可能な都市経営のモデルとして高く評価できる。

3. 一般報告

★「縮充」(小さくても充実する)発想による公共施設マネジメント

東洋大学国際 PPP 研究所シニアリサーチパートナー 南学

「充足」の時代から「縮小」の時代へと移行する中で、単なる縮小ではなく、機能の充実を伴うことで前向きな将来像を描くという新たな視点「縮充」について学んだ。これは、限られた資源の中でも公共サービスの質を高め、持続可能な都市運営を目指す考え方である。

従来、公共施設やインフラは縦割りの部局ごとに管理運営されてきたが、老朽化が進む一方で財源が不足しており、修繕や機能保全が追いつかない状況にある。延べ利用者数は多くとも、実際の稼働率は常連利用者による 2~3 割程度にとどまり、使用料も維持管理費に比べてごくわずかである。

この課題に対し、学校や庁舎などの主要施設を対象に、総合ビルメンテナンス会社への包括的点検・修繕委託を導入する取り組みが紹介された。包括委託により、安全確保が担保されるとともに、施設の劣化状況に関する情報を一元管理することで、大規模修繕や更新の優先順位が明確になり、投資予算の効率的・効果的な配分が可能となる。

また、民間技術者を常駐させることで、業務の約 7 割を現場での保守点検に充て、小規模な修繕はその場で対応する体制が整えられている。これにより修繕のスピードが向上し、適用を希望する施設が増加。日常的な業務においても大幅なコスト削減が可能となり、利用実態の把握も進むことで、行政改革の有力なツールとしての活用が期待される。

さらに、施設全体を俯瞰した情報管理により、トータルでの優先順位の客観的判定が可能となり、限られた資源の中でも戦略的な施設運営が実現されている。

★都市縮小時代の持続可能なまちづくり

＝高松・丸亀町に見る都市の再生と自律性＝ 香川県高松市長 大西秀人

香川県高松市の丸亀町商店街における、地域主体による都市再生の取り組みについて。若手商業者を中心とした有志が立ち上がり、地元主導の再生プロジェクトを開始。地権者の協働出資により「まちづくり株式会社」を設立し、駐車場を含む商業施設を一括管理する体制を構築した。この取り組みは、行政主導でも民間任せでもない「官民協働」によって実現された先進的な都市再生モデルであり、以下の 3 点において大きな成果を上げている。

- 1 都市の回遊性とにぎわいの創出
- 2 歩いて暮らせる都市構造の形成
- 3 市民主体による合意形成とルールづくりの成功

成功の要因としては、地域内でのビジョンの共有と、小さな成功体験の積み重ねが挙げられる。また、行政による柔軟な伴走支援も重要な役割を果たした。具体的には、制度的・法的支援、財政的支援とリスク分担、中立的な調整者としての機能を担い、市民の主体的なまちづくりを後押しした。

この事例から得られた教訓は、「まちづくりは行政が担うものではなく、市民が担うものである」という原則の再確認である。住む・働く・集うといった機能が複合的に重なり合う「歩いて暮らせる都市」の形成は、都市の縮小が進む時代においても持続可能なまちづくりを実現する鍵となる。

★次世代交通とコンパクトで持続可能なまちづくり

早稲田大学理工学術院教授 森本章倫

これまで山地の造成や埋め立てによって市街地を拡大してきた結果、空き家の増加やインフラの維持管理の困難化が進行し、防災上のリスクも顕在化している。こうした状況に対し、都市の空間構造を再編し、安全な場所に居住機能を集約する「ネットワーク型コンパクトシティ」の構築が求められている。

歩行者中心の交通体系の整備と、情報通信技術（ICT）を活用した都市機能の連携が重要な要素となる。特に、自動運転技術の導入や、モビリティハブの整備、シェアリングモビリティの活用などにより、郊外居住者の移動手段を確保しつつ、都市部の魅力と回遊性を高めることが可能となる。

フィジカル空間においては、都市機能の集約と安全性の向上を図り、サイバー空間においては、ICTを活用したスマートシティの構築により、交通・防災・福祉など多様な都市課題の解決を支援する。これにより、都市の縮小が進む時代においても、生活の質を維持し、地域の持続的な発展を可能にする都市構造の再編が実現される。

都市の空間的再構築と技術的革新を統合的に捉える視点の重要性を再認識するとともに、持続可能な都市のあり方について多角的な理解を深めることができた。

4. パネルディスカッション

★まちなかの「パブリック・ライフ」の再考

：成熟社会におけるコンパクトな都市を考える上で

埼玉大学大学院 人文社会科学研究科教授 内田奈芳美

★成熟社会における公共交通ネットワークの進化と持続可能性への挑戦

みちのりホールディングス代表取締役グループ CEO 吉田元

★「いくつになっても」「出かけていけ」「出かけたたい」都市について思案する

まちなか広場研究所主宰 山下裕子

★室蘭市におけるコンパクトなまちづくり―課題解決先進地への挑戦―

北海道室蘭市 部長 高橋さん

★歩いて楽しいまちづくり～公共交通と歩行者中心の持続可能な町～

鳥取県米子市長 伊木隆司

本ディスカッションでは、都市の縮小や高齢化が進む中で、いかにして人々の暮らしの質を高め、持続可能な都市構造を築くかについて、多様な実践と視点が共有された。共通して浮かび上がったのは、「歩いて楽しいまちづくり」という都市の未来を支えるキーワードである。

1. 空間と楽しさの関係性（内田奈芳美 氏） 大宮市の事例を通じて、都市空間の形成だけでは人の流れは生まれないことが示された。人々がストリートを文化として楽しむことで、ウォークアビリティが成立し、中心市街地の魅力が高まる。“あえて歩きたくなる楽しさ”の創出が、コンパクトシティの実現に不可欠であるとされた。

2. 公共交通の進化と地域連携（吉田元 氏） 宇都宮市や高萩市での取り組みでは、地域の実情に応じ

た柔軟な交通サービスの導入が紹介された。IC カードによる運賃制度の工夫や、季節イベントと連動したバスの運行など、移動そのものを楽しさに変える工夫が印象的だった。

3. 広場とつながりの再発見（山下裕子 氏） 「市民が使いたくなる広場」の重要性が語られた。人の流れがある場所を丁寧に整え、ゆっくり歩くことで視野が広がり、つながりが生まれる。米子市皆生の「ぐるぐるかいけ」事業は、歩くことが地域の魅力を再発見する手段となる好例として紹介された。

4. 室蘭市の挑戦（高橋 氏） 22 年かけて学校や公共施設を集約し、持続可能な都市経営を目指す室蘭市の取り組みは、まさに“選択と集中”の実践例。市民との丁寧な対話を重ねながら、将来世代に責任ある都市空間を継承する姿勢が印象的だった。歩いてアクセスできる生活圏の再構築が進められている。

5. 歩いて楽しいまちづくり（伊木隆司 氏） 米子市では、公共交通を「公園のような社会的資源」と捉え、民間との連携で必要な路線を維持。都市のコンパクト化は一朝一夕ではなく、50 年かけて育てるものという長期的視点が共有された。

総括： ディスカッション全体を通じて、「歩くことの楽しさ」が都市の魅力と持続可能性を支える共通のテーマとして浮かび上がった。都市空間の再構築は、単なる機能の集約ではなく、人々が自らの足でまちを楽しみ、つながりを育む場づくりである。“歩いて楽しい”という感覚こそが、成熟社会における都市の再生を導く水脈となる。

まとめ

少子高齢化が進む現代社会において、都市空間のコンパクト化は、移動の複雑さを軽減し、無駄のない暮らしを可能にする重要な手段である。今回のパネルディスカッションでは、**イベントがなくても人が歩きたくなる“ウォークアブルな空間”の創出こそが、持続可能な都市の基盤となる**という共通の認識が示された。

宇都宮市の地域連携型交通施策や、米子市の歩行者中心のまちづくり、室蘭市の公共施設の集約など、各地の取り組みからは、**日常の移動や滞在そのものを快適で楽しいものにする工夫**が見て取れた。これらの実践は、わが市においても、中心部の魅力向上や公共空間の再整備、地域交通の柔軟な運用など、今後の都市政策に活かせるヒントとなる。

都市の再構築は、単なる施設の集約ではなく、**人々が自らの足でまちを楽しみ、つながりを育む空間づくり**である。成熟社会にふさわしい、持続可能な都市の未来を描くために、今回得られた知見を丁寧に活かしていきたい。

参考 第3号様式（第13条関係）

令和7年度政務活動費会計帳簿

NO1

議員氏名 川嶋 恵美

（単位：円）

年月日	摘 要	収 入	支 出	残 高	科 目	領 収 書 番 号
R7. 4. 18	令和7年度交付分	150,000		150,000		
R7. 9. 3	会議参加費		13,000	137,000	研修費	1
R7. 9. 3	振込手数料		550	136,450	研修費	2
R7. 9. 25	宿泊代		28,000	108,450	研修費	3
R7. 9. 25	宇都宮から名古屋JR代		16,060	92,390	研修費	4
R7. 10. 8	名古屋から東京JR代		11,100	81,290	研修費	5
R7. 10. 8	日進駅から名古屋駅		550	80,740	研修費	参考第2号様式
R7. 10. 8	東京から宇都宮JR代		4,820	75,920	研修費	6
R7. 10. 10	名古屋駅から日進駅		550	75,370	研修費	参考第2号様式
合 計		150,000	74,630	75,370		

参考 第6号様式

旅費精算内訳書

氏 名	川嶋 恵美
目 的	第87回 全国都市問題会議
行 き 先	栃木県宇都宮市
期 間	令和7 年 10 月 8 日 ～ 令和7 年 10 月 10 日 （ 2 泊 3 日 ）

交 通 費 内 訳

月日	種別	明 細	金 額 (円)
10 / 8	地下鉄	日進駅 → 名古屋駅	550
	JR	名古屋駅 → 東京駅	11,100
	JR	東京駅 → 宇都宮駅	4,820
10 / 10	JR	宇都宮駅 → 名古屋駅	16,060
	地下鉄	名古屋駅 → 日進駅	550
/ 			

交通費小計	33,080 円
宿 泊 料	28,000 円
実績合計額	61,080 円
政務活動費充当額	61,080 円
差 引 額	0 円

※ 種別は、飛行機、J R、鉄道、地下鉄、バス、車 等を記入のこと。

参考 第2号様式（第9条関係）

領収書等を徴し難い事情があった支出の明細書

支出年月日	支出の金額 (円)	支出の目的	領収書その他の支出を証すべき書面を徴し難かった事由
令和7.10.8	550円	乗車券	ICカード払いのため
令和7.10.10	550円	乗車券	ICカード払いのため

議員氏名 川嶋 恵美

注「支出の目的」の欄には、支出の目的（乗車券、講師謝金等）を記載ください。

参考 第4号様式

令和7年度政務活動費領収書等貼付用紙

NO1

議員氏名 川嶋恵美

領収書番号1

会議参加費 領収書

日進市議会議員

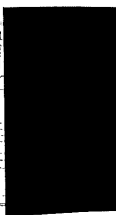
川嶋恵美 様

金 13,000円

但、「第87回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和7年 9月 3日

第87回全国都市問題会議実行委員会
会長 佐藤 栄



参考 第4号様式

令和7年度政務活動費領収書等貼付用紙

NO2

領収書番号2

議員氏名 川嶋恵美

自動機ご利用明細票
《名古屋銀行》をご利用いただきありがとうございます。
ご利用明細票をどうぞお確かめ下さい。裏面もご覧下さい。

お取引内容	お取引日	お取引時刻	機番
お振込	070903	14:00	012
銀行番号	店番号	科目・口座番号	お取引番号
054302621	10332	****8	0083
万円	お取引残高	お取引後残高	お取引店
550	円	13000	円
IC	お取引の金額	お取引後の残高	
	*13000	*136450	
みずほ銀行 十四号支店 普通0660247 カ) JTB 様へ			
000395 カワシマ イミ 様から			
0561-73-0235 通番000017			



名古屋銀行

(ご利用明細票は、直接日光等に長時間あてますと変色すること
がございます。)

領収書番号3

領 収 証

日進市議会議員
川嶋 恵美

様

No. 010577

2025 年 9 月 25 日

金額

¥ 28,000 -

但し 10/8 ~ 2泊、宿泊代金らしい
上記の金額正に領収いたしました

収 入
印 紙

内 訳

8% (税込・税抜) 金額 消費税額等

/

10% (税込・税抜) 金額 消費税額等

¥ 28,000 -

/

¥ 2,545 -

近畿日本ツーリスト 特約店

株式会社ジェイエルシー

〒470-0113

愛知県日進市栄2丁目1603番地 ヴィオラ日進1号

TEL.0561-73-3070 FAX.0561-73-3095

登録番号 T9180001067013

参考 第4号様式

令和 7 年度政務活動費領収書等貼付用紙

NO3

議員氏名 川嶋恵美

領収書番号 4

領 収 証

日進中議会議員
川嶋 恵美

様

No. 010573

2025 年 9 月 25 日

金額

¥ 16,060-

但し 10/10 宇都宮～名古屋 航空
上記の金額正に領収いたしました

収 入
印 紙

内 訳

8% (税込・税抜) 金額	消費税額等
/	
10% (税込・税抜) 金額	消費税額等
¥ 16,060-	¥ 1,460-

近畿日本ツーリスト 特約店

株式会社ジェイエルシー

〒470-0113

愛知県日進市栄2丁目1603番地 ヴィオラ日進1号

TEL.0561-73-3070 FAX.0561-73-3095

登録番号 T9180001067013

参考 第4号様式

令和7年度政務活動費領収書等貼付用紙

NO4

議員氏名 川嶋恵美

駅-No 530108 領収書-No 46
窓口-No 101
領 収 書

領収書番号5

日進市議会議員 川嶋恵美 様

金額 ￥11,100円
「消費税等込み・10%」

但し、乗車券類(クレジット扱い)として

Ex 10月8日

2025年10月12日
東海旅客鉄道株式会社
登録番号: T3180001031569

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

岡崎駅

現金出納社員

EXご利用票 (座席のご案内)	
Seat Information	
25年10月 8日	
¥11,100	3002/予2002名古屋6106
000170926154	TP308 ***** 7240 2249
名古屋 ▶ 東京	
7:59発	9:36着
のぞみ 72号14号車17番C席	

車内改札の際は、このご利用票を呈示してください。
記載以外の座席をご利用の場合は、入場時に使用されたICカード等を確認させていただきます。

このご利用票はきつぷぐではありませ
ご利用票では改札口は通れません

領収書番号6

領 収 証

2025年10月 8日

日進市議会 議員 川嶋恵美 様

金4,820円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期保存する場合はコピーをお取り下さい。

東京843 No.000034